

# ① はまなか 議会だより

NO 137

令和3年7月15日発行



## 6月定例会

	国保税 税率改正の概要	2P
予審	霧多布中央通の改修は	3P
算議	6人の議員が町政を問う	6P~11P
一般	心是道 (瓜田 咲良 さん)	12P
質問		

6月12日茶内小学校で運動会が行われました。昨年は開催ができませんでした。今年、今年はグラウンドに元気な子どもたちの姿を見ることができました。6年生にとっては最後の運動会です。家族が見守る中、力強く走る紅白リレー。

表紙の写真

# 国保税標準保険税率を基に改正 一世帯あたり平均3万7097円の増

**6月  
定例会  
9日～10日**

6月定例会が9日・10日の2日間の会期で開催。  
一般会計・特別会計補正予算と条例改正など  
20議案が上程され、いずれも原案どおり可決し  
ました。  
一般会計は1億7138万円を追加し、予算  
総額78億6176万円となりました。  
一般質問は、6人の議員が登壇しました。

本年も北海道から示され  
た「標準保険税率」を基に、  
前年所得と決算見込みを考  
慮した上で税率等の改正を  
行った。

今回の改正では、所得に  
乗ずる税率が医療費分、後  
期分、介護分でいずれも引  
き上げとなり、合計で1・  
56ポイント引き上げられた。  
一人当たりの均等割額  
は、3区分すべて引き下げ  
となり、合計で3100円  
減額となる。

一世帯当たりの平等割額  
は3区分すべて引き上げと  
なり、合計で1万5000  
円増額となる。

前年度と改正後のモデル  
ケース別の税額の比較は表  
のとおり。

前年度との保険税額の比較

モデルケース(例)	令和2年度 国保税額	令和3年度 国保税額	比較
夫婦と子ども2人の4人世帯 所得 400万円	579,700円	641,000円	61,300円
夫婦2人世帯 所得 200万円	298,300円	333,200円	34,900円
70歳の単身世帯 所得 0円	19,500円	20,800円	1,300円
夫婦と子ども2人の4人世帯 所得 800万円	946,600円	990,000円	43,400円

※夫婦は40～64歳、子どもは40歳未満で算定

## 補正予算審議から

### 湯沸山のシカ駆除は

**問** 湯沸山  
区で実施す  
るエゾシカ  
駆除の方法  
と住民の安  
全対策は。

**答** ゆうゆ  
向かいの森



エゾシカが生息している湯沸山

林に30頭前後のエゾシカが  
いると認識している。今回、  
森林内に16万円で40カ所程  
度の「くくり罠」を設置し  
捕獲しようと考えている。  
シカの通り道などの調査

を事前に行い、罠の設置に  
あたっては遊歩道を利用す  
る人の安全に十分配慮し、  
看板の設置や捕獲期間など  
を住民に周知する。



## 浜中消防署への負担金増の内容は

**問** 釧路東部消防組合に要する経費の浜中消防署への負担金259万円増の内容は。

**答** 負担金は新型コロナウイルス感染症防止対策用備品の購入4件とテレビ共同受信施設の改修費用である。備品購入費の内容は、  
①救急搬送時に救急隊員が着用する感染防止衣で全隊員分24着115万円。

②救急隊員用のフェイスガード付きヘルメットの購入は、昨年度10個購入済みで残る14個90万円。  
③救急車などの消毒用オゾン発生装置37万円。  
④除菌用オゾン水生成装置10万円。

浜中消防団第4分団詰所

(散布)のテレビ受信装置の改修を行うもので、テレビ難視聴地域の光ケーブル化が実施される。その改修費用負担金7万円を計上。

## 霧多布中央通の改修は

**問** 霧多布中央通は、複数年度による改修予定で当初



完成間近の避難道(霧多布中央通)

予算は1680万円であった。このたび緊急輸送道路との位置付けから単年度で完了させるために、2130万円を追加し総額が3810万円となる。町道維持補修工事予算4千万円とは別に霧多布中央通は単独路線として改良工事すべきと思うが。

中の避難道と接続することで、道が指定する緊急輸送道路と連結した防災拠点を結ぶ重要な路線であることから当初の計画を見直し、単年度で実施することになった。

**答** この路線は、現在建設

従来計画の3区間に分けて工事をする場合より、予算を一本化することによって220万円のコストカットが図られる。

## 飲食・宿泊業への補助は

**問** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金700万円の対象事業者と補助額の算定根拠は。

するもの。飲食と宿泊業者30件のうち補助対象となるのは20件(飲食サービス業16件、宿泊業4件)である。

**答** 本年1月に町内で新型コロナウイルス感染症が発生したことによって影響を受けた事業者に補助金を交付することで安定的な事業の継続を図ることを目的と

令和3年1〜3月までの売上高が前年同期と比較し、減少していることや町税を完納していることを条件に減少額に対し、60%を補助する。

## コロナ禍での修学旅行は

**問** 小・中・高校合わせた修学旅行キャンセル料153万円の内容  
は。  
また、旅行前のワクチン接種が望ましいが、12歳以上の児童生徒への接種にあたり、未接種者への偏見・差別に対する対策は。

**答** 現在、予約している小学校3校・中学校3校・高校の修学旅行がコロナ禍により実施できない場合に旅行会社へ支払うキャンセル料で旅費の20%を計上。  
今後の感染状況を見ながら時期や場所の選定など、直前まで検討し実施に向け取り組んでいく。  
また、ワクチン接種は強制ではないので、保護者への事前説明や児童生徒への適切な指導に努める。接種時期は未定であるが、他町

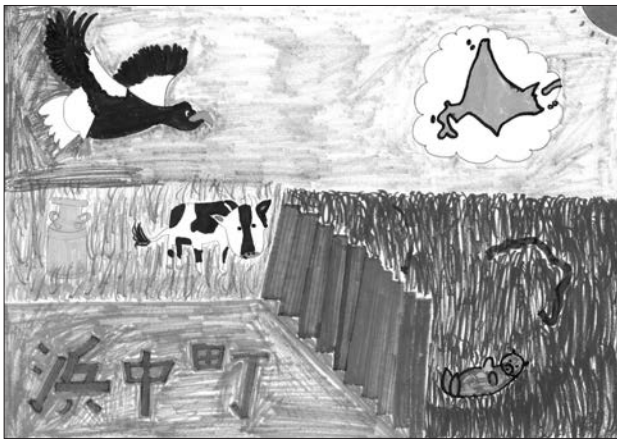
村の教育委員会とも連携し対応したい。

## 町営バスのラッピングは

**問** 浜中・茶内地区のデマンドバスにラッピングを施すための予算110万円の内容と目的は。  
また、霧多布湿原線と霧多布厚岸線のバス2台へのラッピングは。  
運行開始から10カ月となるが、町民からの意見を聴くなど利便性の向上に努める考えは。

また、利用者からの意見などをワークショップ形式で聴取する機会を設け、改善できる部分は実施して利用促進に努めていく。

**答** 浜中・茶内の両小中学生206人にデザインを募集し、その中から最優秀賞1点と優秀賞2点の絵柄を両地区を走るバス1台に、ラッピング装飾する。  
地域の足として利便性の周知と愛着を持って貰うことで利用促進を図ることを目的に、他の2台のバスも霧多布・散布の両小中学生にデザイン募集を行い、次年度以降に実施する計画である。



力作ぞろいのデザイン

## その他の主な歳出（一般会計）

歳出の内訳	金額
災害用備品購入（エアーテント2基）	846万円
ふるさと納税支援業務委託料	330万円
一般コミュニティ事業助成金（水取場町内会）	230万円

### 固定資産評価審査委員の選任に同意

福田敏幸氏は、6月28日付で任期満了となることから、引き続き適任と認め、選任に同意しました。



福田 敏幸氏（茶内北区）

### 辺地総合整備計画 策定・変更

#### ○策定

姉別地区辺地は浜中姉別一般農道整備事業3億7294万円と姉別橋・去来橋の補修で7830万円。

奔幌戸・貫人地区辺地は児童生徒通学バス整備事業367万円。

計画期間はいずれも令和3～7年度までの5年間。

#### ○変更

茶内地区辺地は共栄橋補修工事3680万円。

熊牛地区辺地は友好橋補修工事1800万円。

散布地区辺地は散布保育所改修工事2300万円を

それぞれ加える。

計画期間は、茶内および熊牛辺地は平成29～令和3年度。散布地区辺地は平成30～令和4年度。

### 緑越明許費 繰越計算書の報告

○高度無線環境整備促進事業整備費負担金

5億2533万円

○新型コロナウイルスワクチン接種事業

5237万円

○漁港工事地元負担金

600万円

○国直轄港湾整備事業管理者負担金

2250万円

○電子地域通貨システム導入事業補助

1500万円

○旧庁舎解体工事

1億6937万円

○感染症対策等の学校教育活動継続支援事業

819万円

いずれも令和2年度内に終了できなかったことから、事業費を令和3年度に繰り越したことが報告された。

### II 工事請負契約 を可決 II

□ 公営住宅個別改善工事

（霧多布団地S57・1）

（契約先） 赤石建設㈱

（契約金額）

2億5278万円

（工期） 令和4年1月31日

□ 公営住宅新築工事

（茶内団地R03）

（契約先） 九重種市建設有

（契約金額）

2億108万円

（工期） 令和4年2月28日

□ 茶内配水池耐震化  
更新工事

（契約先） 赤石・三ツ輪経営

建設共同企業体

（契約金額）

2億8490万円

（工期） 令和4年2月28日

### II 財産の取得を 可決 II

□ じん芥収集車両1台購入

（取得先） いすゞ自動車㈱

釧路支店

（取得金額）

2475万円

（納期） 令和4年3月11日



茶内団地R03建設予定地



# 一般質問

川村 義春 議員



問

コロナワクチン  
接種会場の今後は

答

原則、文化センターを  
会場とする

**川村** 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は、町民からの苦情もなく大変スムーズに行われ、医師を始め医療スタッフに敬意を表し、感謝をしたい。引き続きご尽力願いたい。5月31日現在の実績を一覧表で提示を。また、副反応の状況は。

**町長** 実績は、下表のとおり。また、ワクチン接種による副反応者は出ていない。

## 新型コロナワクチン接種状況

(単位:人)

	浜中診療所	消防職員	町保健師	歯科診療所	調剤薬局	町民						その他	合計
						85歳以上	75～84歳	70～74歳	65～69歳	65歳未満	計		
対象者数	33	27	2	4	4	308	535	466	473	3,291	5,073		5143
1回目接種	33	27	2	4	4	270	456	1		1	728	69	867
2回目接種	19												19
未接種	0	0	0	0	0	38	79	0	0	0	117	0	117

令和3年5月31日現在

※ 1回目接種のその他69人の内訳は、高齢者施設従事者63人、接種会場従事者1人、社会福祉協議会職員3人、住所地外2人。



ワクチン接種を受ける高齢者

**川村** 提出された表によると1回目のワクチン未接種者が75歳以上で117人いるが、接種に導く努力が必要では。

**町長** ワクチンの有効性を説明し、接種に向かうよう取り組みたいが、当面、接種を希望する人を優先する。

**川村** 3月定例会で、ワクチン接種は町内5カ所で分散接種との答弁を受け、議会だよりで周知していたが、65歳以上の高齢者の接種会場は、総合文化センターとなった。その理由とこれか

ら接種の一般町民12歳以上64歳までの会場と接種完了予定月は。

**町長** 会場変更の理由はワクチン接種時に起こるリスクを極力抑えるため、診療所が近く救急搬送が容易な場所であることや、会場内は靴を履いたままで受けられる。医療スタッフの接種環境の改善も図られることから今後も原則、総合文化センターを会場にする。高齢者は7月末までに終え、一般町民の接種の完了は何とか10月末までに終えたい。

# 一般質問

田甫 哲朗 議員



## 認知症予防に ファイブコグ検査を

## 導入するための 職員研修を実施

問

答

**田甫** 高齢者保健福祉計画には「認知症への対応は早期の発見・対応が重要であることから相談窓口の周知が必要である」とあるが、早期発見・予防の具体的な記述がない。

**町長** 現在、福祉保健課を窓口には家族などからの相談

対応や医師と情報共有を図り早期発見に努めている。指摘の検査は、有効な方法でありコロナ収束後に、東京で行われる研修会へ職員を派遣するなど導入に向け取り組んでいく。

※ファイブコグ検査とは、映像を見ながらの筆記試験方式で、手先の運動機能と5つの脳機能の判定を行うもの。

**田甫** 「介護予防は前期高齢者の早い時期から始めることが重要である」とあるが、「ハツラッククラブわっはっは」や「健康教室」への年代別参加人数は。

また、予防事業を体験してもらうことで参加率も上がると思う。年代別の開催や町内会などへ働きかけ、住民からの開催要望を募るなどの取り組みが必要では。

**町長** 対象者数は65～69歳437人・70～74歳466人・75～79歳296人・80歳以上547人で、参加人数は年代順に「わっはっは」が2人・7人・15人・10人「健康教室」が2人・16人12人・20人と低調である。



「わっはっは」でのふまねっと運動

今後は、ウォーキング講座33人・姉別ふまねっと教室17人のような参加しやすい企画の提供を図りたい。

**問** 新川東・暮帰別地区避難先の見直しを

**答** 地元住民との協議検討を進める

**田甫** 霧多布避難道交通シミュレーションでは、新川東地区も27分以内に湯沸高台への避難が可能。暮帰別地区は昼間は避難できるが夜間は車両台数が増え避難

できないとの結果である。ただ、両地区の人口・車両台数は10年前のデータであり、現在は減少していると思われる、新たな検証が必要では。

**町長** 両地区の避難先を湯沸高台にできれば、現在より距離は半分となり浜中までの長い海岸線を走行するリスクが解消される。

早急に地元自治会・町内会と協力して人口動態調査を行う。



# 一般質問

秋森 新二 議員



## 問 海岸漂着物対策に向けた協議会の設置は

## 答 国が主体となるものと捉えている

**秋森** 世界の海に存在するプラスチックの量は推定で1億5千万トン以上。さらに、年間8百万トンのプラスチックが流出しており、海洋プラスチック汚染が国際的課題となっている。

この課題に対し環境省は「海岸漂着物処理推進法」を、北海道は「海岸漂着物対策推進第3次計画」を策定。海岸における良好な景

観および環境保全を図るため、海岸漂着物の円滑な回収処理および発生抑制に合わせ、近年、国際的課題となっている海洋プラスチック対策を推進することを主な内容としている。

浜中町でも、海洋プラスチックの現状認識の共有と回収・処理の徹底を図るため、協議会の設置が必要と考えるが取り組み状況は。

**町長** 海岸漂着物の回収は、自治会・漁協青年部の協力をいただき、4月の一斉清掃にあわせ実施するほか、社会貢献事業として町内の建設業者が海岸漂着物の回収を行っている。

平成22年度より釧路総合振興局が中心となり、釧根地域海岸漂着物対策推進協議会が設置されている。

海洋プラスチックは、国が主体となって対策を講じていくものと捉えており、協議会の設置は考えていない。

**秋森** 処理推進法では、海岸漂着物の処理に要する経費について配慮するところがある。

浜中町での活用実績は。

**町長** 令和2年度は廃プラ

回収した経費12万円に對し、9万5千円が交付されている。

**秋森** 5月30日（ごみゼロの日）から6月5日（環境の日）まで「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」となっている。浜中町でも啓発活動の取り組みが必要と思うが、現状と今後の考え方は。



プラスチックが漂着している海岸

**町長** 毎月の広報に「ごみ博士からのお知らせ」のコーナーで啓発記事を掲載し、令和2年度では計5回不法投棄に触れている。

今後も「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」にこだわらず、町広報などで不法投棄やごみ分別の啓発活動をしていきたい。





# 一般質問

加藤 弘二 議員

問

## 放射性廃棄物の海洋投棄をどう思うか

答

## 説明もなく強行されるのは反対

**加藤** 国は福島原発事故から出た放射性廃棄物を海洋投棄することを4月13日決定した。事故後10年経つが被害は甚大であった。福島県をはじめ近隣県でとれた魚介類は放射能を浴び売り物にならず、7〜8年経てやっと市場に出荷できるようになった矢先に、震災後、溜まった汚染水タンク千個、1

20万トンと2年後に海洋投棄するという。これには、福島県のみならず、茨城県、岩手県で直ちに反対運動が展開され、多くの自治体で「海洋投棄反対」の決議がされている。

反対運動では、全漁連、北海道漁連、地元漁協をはじめ漁業関係団体が反対の意を表明している。地元の漁民の声も厳しい。「今回は、放射性廃棄物そのものだ。俺たちは商売



守りたい きれいな海

ができなくなる。」絶対反対の声がある。町長の意見を聞きたい。  
**町長** 福島原発の汚染水処理問題については、3・11の東日本大震災の時からずっと抱えてきた国の大きな懸案事項であったと認識している。

今回の決定に対し、全漁連の岸会長は、遺憾の意を表明し、改めて反対であり抗議を申し入れている。同時に、国民、漁民の不安を払拭するために次の5項目の対応を求めている。  
①多くの国民、漁民の反対意見がある中、なぜ海洋投棄を決定したのかを説明すること。  
②風評被害への対応方法を明確にすること。  
③アルプス処理水の安全担保。  
④漁業者の経営継続のための対応策を示すこと。  
⑤処理水の新たな保管方法を検討すること。  
以上の抗議は当然のことと思っており、何の説明もなく海洋投棄が強行されるのは反対である。

# 一般質問

渡部 貴士 議員



問

町内の一斉清掃を  
毎月実施してみても

答

時間をかけて検討したい

**渡部** 希少な水鳥繁殖地や湿原植生などの生態系と、人と自然との共生により育まれてきた文化景観とが一体となつてつくり出す景観などが評価されて「厚岸霧多布昆布森国定公園」に指定されたばかりだが、雪解けと同時に道路脇にポイ捨てされている無責任な大量のごみが海洋マイクロプラシックへと繋がり、地球環境や生態系など人体にも

影響を与える世界問題になつている。  
浜中町は全国に先駆けてレジ袋削減へ取り組んだことで先進的な活動は評価されているが、それでもポイ捨てや不法投棄がなくなる原因と、禁止看板や自然の番人宣言による効果を



短時間で拾ったポイ捨てごみ（六番沢）

どう考えているか。  
**町長** 分別方法が煩雑などの理由があるが、モラルの欠如も要因の一つと考えられ、禁止看板などは抑止力になつていると捉えている。  
**渡部** 誰もが清掃活動に参加しなければならぬ状況になれば、捨てる行為は減

ると考えられるので、海岸線を含めて毎月一斉清掃をしてはどうか。  
**町長** 町民が自発的に清掃活動をしてもらうのが望ましいが、行政としてどのように関わられるか時間をかけて検討したい。  
**問** 再エネ条例 制定の効果は  
**答** 認定済みを除いて抑止力の効果は出る  
**渡部** 4月に再生可能エネルギー発電施設の設置に関する条例が制定されたが、ナショナルトラスト活動などによって湿原が保全されていないければ、もっと多くの太陽光パネルが設置されていたように思う。  
条例が施行された以降も太陽光パネルの設置が目立つが、この条例が景観を守る抑止力になつているのか。  
**町長** 条例の施行前に事業計画の認定を受けている発電施設は設置が見込まれる場所もあると思うが、施行日以降の新設は条例に基づいた手続きが必要となるので一定の効果はあると考えている。



# 一般質問

小松 克也 議員



問

廃校跡地への企業誘致は

答

まちづくりは産業振興が軸

**小松** 生産活動拠点を海外から国内に移す企業もある中、廃校跡地利用の観点からも企業誘致に取り組み、雇用の場を創り人口減対策を進める考えは、また、廃校跡地利用の募集は。

**町長** 本町のまちづくりは、基幹産業の振興が軸で企業誘致は考えていない。

**教育長** 町ホームページで奔幌戸・貫人・茶内第三・



旧奔幌戸小学校

姉別小学校の利用募集案内を掲載している。

## 開かれた議会を目指して

今期から広報公聴常任委員会となり、広報はもとより公聴活動の充実を図るため検討を重ねてきました。

このたび別紙チラシのとおり、議会報告会と意見交換会の開催を企画しました。詳細は別紙をご覧ください。ここでは議員と議会の主な役割について記載しますので、ご理解いただきたいと思えます。

### ○一般質問

住民の声や議員個々の考えを町政に反映させるために、質問内容を事前通告し定例会において町長の考えを質します。

### ○予算の審議と議決

年4回の定例会で町長から提案される予算案（3月約300ページ、6・9・12月各50ページ）について、事業の重要性・公平性・予算額などを各議員の視点から質疑を行い、議決することです。

### ○決算の審査と認定

前年度決算について、10月11日の特別委員会でする執行状況・事業効果などを質し、次年度以降の事業計画における各事業の継

### ○委員会活動

3つの常任委員会（総務・経済・社会文教・広報公聴）で担当項目ごとに、町が抱える課題の解決策を調査し、他町村の情報収集や先進地の視察研修などを行い「委員会報告」として提言します。

その他、日常における議員個々の活動もありますが、町民の代表である議員の活動状況を知っていただく上から、多くの皆様が議会傍聴に足を運んでくださいますことを願っています。

# 心是道

霧多布高等学校  
3年A組

瓜田 咲良さくら



## 「浜中学」を学んで

私は、自分の生まれ育った地元ことは、ある程度知っているつもりでいました。しかし、2年間浜中学を学んで、まだまだ知らないことがたくさんあるということを実感しました。

1年生のときには、漁業・酪農・自然についてなど、町民の方から講話をいただいたり、浜中町の食材を使ってピザを作ったりしました。講話を聞いて印象に残っていることは、全ての産業に共通している「後継者

不足」です。浜中町の産業は、とても好調なイメージがあったので意外でした。これは私たち若者にも関わってくる問題なので、しっかり考えていかなければならないと思いました。

2年生のときには、1年生で学んだことを広める力を磨きました。数人のグループに分かれて準備を進め、たくさん発表しました。メンバーのみんなと連携をとり、意見をまとめながら進めることが難しかったです。

今年、浜中学の集大成の年です。浜中学報告会で私たちは、3年間の浜中学を通して感じたことや学んだことを生かし「浜中町を発展させるためには」をテーマに掲げ発表します。

私は浜中学を学んで、卒業後に生かすことのできるスキルも磨くことができました。その一つが、コミュニケーション能力です。特に、人との連携をどのようにとればいいのかを学ぶことができました。将来、働くときは周りとの連携が必ず必要になります。スピード感や団結力を求められる場面で、この浜中学で学んだことを生かしていきたいです。

私たちの班は、観光の面から浜中町の発展について発表します。実際に住んでいる立場から観光客の立場になって考えていくことは大変ですが、浜中町のことを客観的に見ることができ

る良い機会なので、さらなる好奇心を持って取り組んでいきたいです。

- 揮毫 書道部2年A組 二ツ森美空さん
- 読み方 しんぜどう
- 意味 普段の心を守る ことが大切である。



## 町のトピックス

夏、到来！

コントラ事業による一番草の収穫が始まりました。酪農王国浜中の基本は、牛の健康管理。良い牛乳は良い粗飼料から。

6月15日撮影



町のトピックス(話題)を募集します!

この欄に掲載するまちの季節の写真をお寄せください。次回の発行は令和3年10月15日です。

ご応募はこちらへ 浜中町議会事務局 E-mail: gikai@town.hamanaka.lg.jp TEL: 62-2265

発行 北海道浜中町議会  
編集 議会広報公聴常任委員会

〒088-1592  
北海道厚岸郡浜中町湯沸445番地  
☎0153-62-2220・2265

この議会だよりは、再生紙を使っています